

平成28年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議 会議録

開催日時	平成28年6月21日（火） 午後2時
閉会日時	平成28年6月21日（火） 午後4時10分
会議場所	阪南市立図書館 視聴覚室
出席委員	森本 典子 会長 （阪南市子ども文庫連絡会代表）
	橋本 一郎 委員 （市民公募）
	西野 豊子 委員 （市民公募）
	水野委員代理出席 猪俣氏（社会福祉協議会代表）
	谷本 美由貴 委員 （阪南市みんなの図書館を考える会代表）
	福井 貴子 委員 （泉鳥取高等学校代表）
	下林 奈央 委員 （中学校代表）
	奥野 ユカリ 委員 （幼稚園代表）
	南 智珠子 委員 （保育所代表）
	宍道 恵子 委員 （子育て総合支援センター代表）
	後藤 陽子 委員 （健康部健康増進課代表）
	竹中 宏子 委員 （生涯学習部生涯学習推進室代表）
	加藤 靖子 委員 （生涯学習部図書館代表）
事務局出席者	井上主幹、中山総括主事

案件1

委員紹介

門野委員の人事異動により副会長が不在となったため、後任である井谷委員を副会長に選出した。

案件2

B委員

昨年度の子ども読書活動推進の取り組みについて（今年度の取り組みも含む）

昨年11月に、緑ヶ丘地区で自治会と一緒に子ども文庫活動を始めた。餅つきイベントと重なったときなど、大勢来てくれにぎわったが、今年に入って、来てくれる子どもがほとんどいない。祖父母世代と子どもたちの交流の場になればと思っている。自治会と一緒にやっているため、地区の子ども限定にならざるを得ない。始めたばかりなので、もう少し頑張っけていく。

A委員

子ども文庫は、利用する子どもの減少や、世話人の高齢化等それぞれ抱えている問題もあるが、精一杯の活動を続けている。

C委員

めだか文庫では、ちょっとしたきっかけで、子どもがたくさん来る時期もあれば、ほとんど来ずさびしい時期もある。最近のお母さんは、いろんな居場所を求めている。自由に過ごせる場所の一つとして提供できればいい。

E委員

普段、下荘住民センターで開催しているすくすく塾を、貝掛地区でもやろうということで、和泉学園共善寮の場所をお借りして開催した。1回きりではなく、今年度も2回開催する予定である。

D委員	<p>地域交流館1階のカフェで、3月からまちライブラリーを開始した。おすすめの本を、メッセージとともに持ち寄り、読みあう取り組みで、人と人の本を通じたつながりを大切にしていきたい。これから宣伝して行く。</p> <p>人集めの工夫としては、ちょっとしたイベントと組み合わせて、行ってみようかなと思ってくれるようにしている。</p>
A委員	<p>箱の浦のおしゃべりサロンは、毎週3日、午前中に開催していて、活発な活動をしている。伝手があり、文藝春秋の新刊を全部いただけるので、出版社は偏っているが、新しい本がある。ここに来るのは高齢者だけで、若い方や子どもは来ていない。集える場所も今作っているので、地域全体を巻き込んで、色々な世代の人が集まる仕掛けをしていきたい。</p>
E委員	<p>図書館を考える会では、大阪府子ども文庫連絡会の役員をしているメンバーもおり、府内の情報を得ている。府内他市と阪南市の図書館・学校図書館を比べると、専任司書の配置や、市立図書館の学校図書館への支援はかなり充実している。</p> <p>今年度も、学校図書館の見学をしたり、学校司書の話の聞いたりして情報収集し、学校図書館が充実するよう、働きかけていきたい。</p>
K委員	<p>保健センターでは、生まれる前の両親学級、生後2カ月の家庭訪問、4カ月のブックスタート、また、赤ちゃん相談等、時期にあわせて絵本の紹介を行っている。</p>
J委員	<p>子育て総合支援センターでは、色々な年代向けの教室を開催している。0歳児の教室もあるが、『もこもこもこ』は0歳児が必ず喜ぶ絵本である。また、0,1歳児の保護者向けのおしゃべりサロンも始めた。この時期は、参加するには小さすぎたり、周りに気を使ったりして、行く場所が限られてしまうとのことで、場所を提供するために始めた。市民ボランティアである「ウエストバード」に依頼して時間中におはなし会をしてもらっているが、これを目当てに来る方もいる。</p> <p>「おやこであそぼうカレンダー」を隔月で発行している。載せたい情報は、奇数月の1週目までに教えてもらえると、次月号に掲載できる。また、毎号掲載している情報で、いつもと違う場合も、事前に教えてもらえると助かる。参加しようとしたら休みだったといわれることもある。</p>
I委員	<p>26年度と同様の取り組みを、27年度も行った。</p> <p>保護者は、登園時も降園時もあわただしくしており、また駐車場もないので長時間車を離れるわけにもいかず、玄関に絵本を展示しているが、なかなか手に取ってもらえていない。</p>
H委員	<p>保護者の絵本サークルによる読み聞かせ、図書館や自動車文庫での本の貸出等、各園それぞれで、子どもたちが本に親しめる環境づくりを行っている。クラス便りで子どもたちに人気の絵本を紹介している。</p>
L委員	<p>28年度から、留守家庭児童会は全学年の児童が対象となった。ボランティアの方にお願いして全校の留守家庭児童会で読みきかせを実施してもらいたいと考えるが、学年によって下校時間がまちまちなのでタイミングが難しい。2学期からは昨年度も読みきかせをしていた下荘小学校で試行的に行ってもらおう予定である。</p>
G委員	<p>朝読が定着したことで、生徒の本を読む機会が増えた。秋の読書週間には英語科の教諭に英語の本を読んでもらうなどした。予算執行の都合で本を購入する時期が6月から1月までと短い。新年度は新しい本を用意して、生徒を迎えたいので、映画化情報や、本屋大賞の受賞作を予想し、先を見越した選書に努めている。生徒が読みたがる本と、教師が薦めたい本のギャップも選書の悩みである。</p>

F委員	<p>泉鳥取高校では毎年新入生にガイダンスを行うが、今年度の1年生は本を読む生徒が多い印象がある。図書館には、偏らず多様な本があるよう、選書は特に力を入れている。今年度は文化祭でビブリオバトルを開催したいと考えている。</p> <p>府立高校は、司書がない学校では、図書予算がゼロとなっている実情がある。泉鳥取高校では、司書がいるため図書館がきちんと機能し、昨年度40万円程の図書を購入することができた。</p>
M委員	<p>図書館では、府と共催で読みメン養成講座を行った。また、天王寺動物園の元獣医師による講座を開催したが、講師は市民がボランティアで引き受けてくださった。</p>
案件3 M委員	<p>今年度の子ども読書活動推進の取り組みについて</p> <p>図書館では、さつき台地区の自動車文庫の駐車場を、公園からさつき台幼稚園前に変</p>
事務局	<p>今年度も、昨年同様取り組みを記録していただき、報告をお願いする。締め切りは来年2月中旬ごろである。</p>
案件4 事務局	<p>事務連絡</p> <p>家庭読書の日のポスターを作製した。ラミネートの有無、メモ欄の有無と必要枚数をお知らせいただければ、作成して配布する。</p> <p>次回の会議は12月ごろを予定している。</p>

終了